

令和6年1月17、24日（水）に、授業研究校内発表会を実施しました。

全校研究テーマ

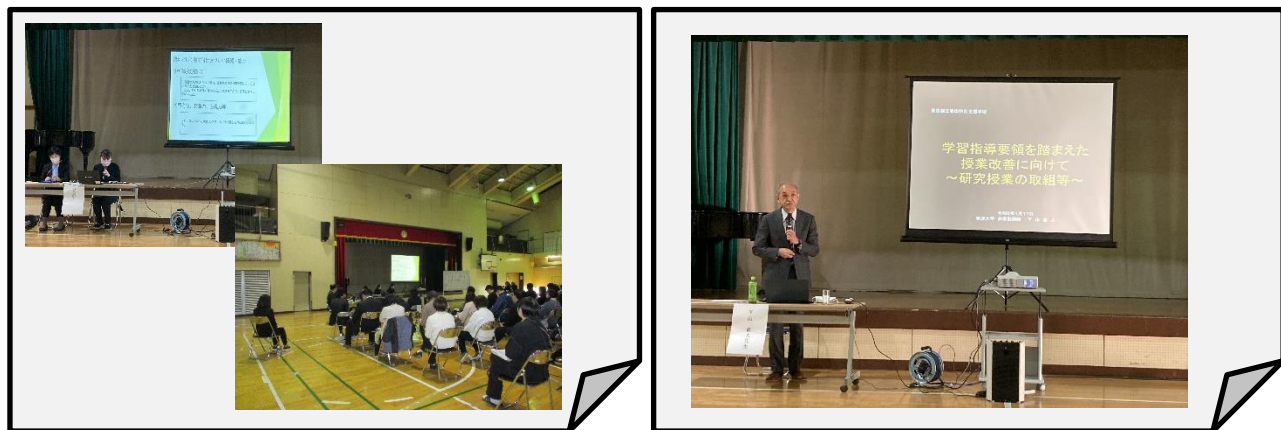
「学習指導要領を踏まえた授業改善

～各教科等での育成すべき資質・能力（三つの柱）を考える」

ねらい

- ①小・中・高等部の垣根を越えて教科ごとにグループを編成し、一貫した教育を目指して授業研究を行う。
- ②学習指導要領を踏まえた学習指導の考え方を、研究を通して理解を深め、授業改善を進める。
- ③各教科等の発表や講師の先生からの助言を基に、自己の授業改善につなげる。

発表会の様子



最後に・・・

各教科全ての研究発表の中で、共通して挙げられていたことは、指導要領を踏まえた学習指導の中で、生活に生かせる学びとは何かを考えて授業を進めていきたいことや、小中高で系統性のある授業をしていきたいということでした。講師の下山直人先生からも、生活に使える力の定着を図るために、小中高一貫した学習が大切であり、その一貫した系統性について、縦のつながりや横の広がりを意識して考えてほしいというお話がありました。また、授業を作っていく際に、生活の中で生きて活用される力が身についていくよう、単元に係る児童生徒の実態把握をより丁寧に行っていくことが大切であるとの御助言もいただきました。今年度の学びを生かして、次年度の研究や授業作りをしていけるよう、教職員一同、日々精進して参ります。

次回は・・・「令和6年度の研究について」（令和6年6月発行予定）